

# 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会

## 第 35 回海域活断層評価手法等検討分科会

### 議事概要

※令和 7 年 6 月 27 日に公表した「日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）—近畿地域・北陸地域北方沖—」に関する部分を記載。

1. 日 時 令和 7 年 6 月 13 日（金）13 時 30 分～16 時 30 分
2. 場 所 文部科学省旧庁舎 2 階第 2 会議室及びウェブ会議のハイブリッド形式による開催
3. 議 題  
(1) 日本海中南部の海域活断層の長期評価について  
(2) [REDACTED]  
(3) その他
4. 配付資料  
(本資料)  
海活 35(1) 第 34 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨（案）  
海活 35(2) 日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）（案）
- （参考資料）  
海活 35 参考資料 1-1 メーリングリスト[umikatsu]における議論  
海活 35 参考資料 2-1 日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）（案）  
（0513 版からの変更履歴）  
海活 35 参考資料 2-2 日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）のポイント（案）  
海活 35 参考資料 2-3 日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）の概要（案）  
海活 35 参考資料 2-4 0513 版への意見とそれに対する回答  
海活 35 参考資料 2-5 日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）の予測震度分布  
（案）  
海活 35 参考資料 3-1 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-2 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-3 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-4 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-5 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-6 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-7 [REDACTED]  
海活 35 参考資料 3-8 [REDACTED]

海活 35 参考資料 3-9

海活 35 参考資料 3-10

海活 35 参考資料 3-11

## 5. 出席者

主査 岡村 行信

国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター活断層・火山研究部門 名誉リサーチャー

委員 芦 寿一郎

国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授

石山 達也

国立大学法人東京大学地震研究所 准教授

伊藤 弘志

海上保安庁海洋情報部技術・国際課 地震調査官

高橋 成実

国立研究開発法人防災科学技術研究所 連携研究フェロー

上席研究員／国立研究開発法人海洋研究開発機構

海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター 上席研究員

仲西 理子

国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震発生帶研究センター 主任研究員

森川 信之

国立研究開発法人防災科学技術研究所巨大地変災害研究領域地震津波複合災害研究部門 上席研究員

山下 幹也

国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター地質情報研究部門資源テクトニクス研究グループ

研究グループ長

事務局 上野 寛

文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 地震調査管理官

高木 悠

文部科学省地震火山防災研究課地震火山室 調査官

岡 岳宏

気象庁地震火山部管理課 地震調査連絡係長

塩谷 俊治

国土地理院測地観測センター 地殻監視課長補佐

千馬（文部科学省研究開発局地震火山防災研究課）

地震予知総合研究振興会※の担当者（以下「振興会」）

※委託事業「地震調査研究推進本部の評価等支援事業」の受託者

## 6. 議事

岡村主査：（開会）

事務局（上野）：【出席者確認】本日は欠席なし。対面出席は岡村主査、芦委員、森川委員。

事務局（高木）：【配付資料の確認】

事務局（上野）：【第34回議事要旨（案）の確認】会議終了までに修正がなければ承認していただきたい。

→本会議終了までに修正の意見はなく、案のとおり承認された。

日本海中南部の海域活断層の長期評価について

—長期評価文の修正について—

岡村主査：日本海中南部の海域活断層の長期評価文について審議に入る。事務局から説明をお願いする。

事務局（高木）：（海活 35 参考資料 1、2-1～2-4 に基づき説明）

岡村主査：評価文の修正について説明をしていただいた。海活 35 参考資料 2-4 に示したとおり、意見をいくつかいただいたが、本質的に議論が必要な指摘ではない。今の説明についてご意見、ご質問はあるか。宜しいか。もし宜しければ、事務局および私の方で判断して修正する。

（意見なし）

### —予測震度分布図について—

岡村主査：それでは、予測震度分布図について引き続き説明をお願いする。

事務局（高木）：（海活 35 参考資料 2-5 に基づき説明）

岡村主査：評価文とあわせて予測震度分布図を公表する予定である。もしお気づきの点があれば、発言いただきたい。会議後でも意見を受け付けるが、期限はあるか。

事務局（高木）：評価文と同様に、日本海中南部に関しては 6 月 16 日（月）までにいただきたい。予測震度分布図は地震調査委員会名義で出す訳ではなく、事務局資料としての位置づけのため、会議後でもお気づきの点があれば指摘していただければ対応したい。

岡村主査：今、何かご意見あるか。

（意見なし）

岡村主査：評価文案については、地震調査委員会でも 2 回の議論の機会があり、6 月 10 日の地震調査委員会で承認された。以降の軽微な修正は、地震調査委員会委員長、長期評価部会部会長、海域活断層評価手法等検討分科会主査の承認のもとで進めることにしたいが、その点について、ご了承をお願いする。

（異論なし）

### —今後のスケジュールについて—

事務局（高木）：今後のスケジュールについては先程、説明したとおり、6 月 27 日公表予定として進めている。

岡村主査：2 週間後の 27 日であるが宜しいか。ご質問・ご意見あれば、ご発言いただきたい。

（意見なし）

以上